

大温室内植物の新規開花・結実記録

堀川大輔・磯部実・濱谷修一・高井敦雄

はじめに

2018（平成30）年3月の大温室リニューアルにあわせて沖縄から導入した植物や、リニューアル以前から大温室内に植栽されていた植物のうち、当園で新たに開花・結実したものについて記載する。

バーリングトニア・アクタングラ
（赤花サガリバナ）

Barringtonia acutangula

2017（平成29）年に沖縄より導入した株である。2019（令和元）年、8月下旬に開花し（写真1）、同年10月に結実した。



写真1 バーリングトニア・アクタングラ 花
（2019年8月22日）

モモタマナ

Terminalia catappa

旧大温室に植栽されていた株で、これまで開花はしていたものの、結実したことがなかった。2019（令和元）年の6月に開花が見られ、同年9月に多数結実した（写真2）。



写真2 モモタマナ 実（2019年11月26日）

オオホウカンボク

Brownea grandiceps

2017（平成29）年に沖縄より導入した株である。2019（平成31）年1月中旬から複数の蕾の発生が確認され（写真3）、順に開花した（写真4）。花序全体の花期は1週間程度であった。



写真3 オオホウカンボク 蕾
（2019年1月12日）



写真4 オオホウカンボク 花 満開時
（2019年1月17日）

ムユウジュ

Saraca asoca

2017（平成29）年に沖縄より導入した株である。2019（令和元）年4月下旬に花芽が形成されているのを確認し、5月に開花した（写真5）。



写真5 ムユウジュ 花 (2019年5月7日)

オヒルギ

Bruguiera gymnorhiza

2017(平成29)年に沖縄より導入した株である。
2019(令和元)年11月上旬に花芽が形成されているのを確認し、11月下旬に開花した(写真6)。



写真6 オヒルギ 花 (2019年11月23日)